

第1回 夏井川・鮫川流域治水協議会議事概要

1 日 時 令和3年4月21日（水） 14時00分～15時00分

2 場 所 WEB 会議

3 出席委員 32名中31名（欠席1名）

4 議 題

- (1) 協議会設立趣旨、規約、構成確認
- (2) 流域治水について

5 議事概要

- (1) 協議会設立趣旨、規約、構成確認について
 - ・協議会の設立趣旨及び協議会の規約について承認。
 - ・協議会の民間有識者の参画について承認。

- (2) 流域治水について
 - ・流域治水の取組及び今後の進め方について合意。

(3) 意見交換について

ア) いわき市長

夏井川・鮫川の流域治水プロジェクトは、本年8月に策定する予定であるが、市内、県内の他の二級河川における流域治水プロジェクトの策定は、どのような予定としているのか。

イ) 福島県土木部河川計画課長

令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた夏井川等については、今年8月を目途に流域治水プロジェクトをとりまとめることとしており、他の二級河川については、市町村等の関係機関と調整しながら、今後、新たな水系を選定し、流域治水プロジェクトを策定していく。

ウ) 鮫川村長

鮫川村は上流域であるため、鮫川下流（古殿町、いわき市）に大量の土砂を流さないような施策に転じる必要がある。建設事務所や農林事務所、森林管理署等と調整し、治水・治山工事を行いたい。また、併せて災害時における情報共有や災害協定等などの情報提供をしていきたい。

エ) 古殿町長

河道掘削や河川の未改修区域の改修を進める必要がある。

オ) 小野町長

現在、令和7年度を目標に河川改修を実施している。小野町は夏井川の上流部であるので、流末については田んぼダムの検討調整も町民の同意のもと進めていく必要がある。大雨時には夏井川下流のいわき市と情報共有・連携していきたい。

カ) 田村市建設部長

田村市は夏井川最上流部に位置しており、下流区域の災害防止のために山林伐採、開発計画、ため池整備などによる洪水調整等、災害対策に努める。

キ) 福島県農林水産部農村計画課長

森林・農地・施設の多面的機能を活かす取組を推進していく。
具体的には、農水省の交付金を活用して田んぼダムの取組を促進するとともに、農業用ダム及びため池について、必要に応じた施設の改修や堆砂対策、施設管理者への指導・助言を行っていく。

また、森林整備による浸透機能の向上効果や、治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果により、森林の有する多面的機能の発揮に取り組んでいく。

ク) 国土交通省東北地方整備局地域河川課長

流域治水プロジェクトを進めるうえでは、あらゆる機関の連携が必要であるため、各省庁でも随時連絡調整を行っている。また、流域治水を持続的に進めるために、定期的に調整会議を実施する必要があり、今後も随時情報提供していく。

ケ) 気象庁福島地方气象台長

昨今の甚大な災害が頻発している状況を踏まえ、線状降水帯に関する新たな情報提供を開始する等、積極的に取り組みを進めている。各市町村や河川管理者には、引き続き様々な情報を適時に提供していきたい。

コ) 事務局連絡

次回協議会は6月を予定。次回までに各構成団体における中長期的なものを含め、様々な施策・取組の追加提案を依頼。